

<u>ファイル名</u>	NumBox.ctl
<u>オブジェクト名</u>	NumBox (ユーザーコントロール)

Visual Basic 標準の Text Box コントロールに修正を加えて数値入力用に作成したユーザーコントロールである。ここに示すプロパティ、イベント及びメソッドがサポートされており、大部分が Text Box コントロールと共通である。

<u>プロパティ名</u>	BackColor, DragIcon, DragMode, Enabled, Font, ForeColor, Height, HelpContextID, Index, Left, Locked, MaxLength, PasswordChar, TabIndex, TabStop, Tag, ToolTipText, Top, Visible, WhatsThisHelpID, Width
<u>説明</u>	Text Box コントロールと同じ。
<u>プロパティ名</u>	MoveFocusByEnter
<u>型</u>	Boolean
<u>説明</u>	Enter キー入力によりフォーカスの移動を行うかどうかを設定する。True に設定すると、Enter キーの入力により、次の TabIndex のコントロールにフォーカスが移動する。False にして使用することを強く推奨。
<u>プロパティ名</u>	NumberFormat
<u>型</u>	Long
<u>説明</u>	<p>数値入力のための入力規則を設定する。ただし、入力を許す Key Code を制限する機能しかなく、入力された数値の上限、下限を制限する機能はない。したがって、数値型の変数に入力する際のオーバーフローは有り得るので別途チェックするコードが必要である。</p> <p>0-nmbFree : 規則なし。Text Box コントロールと同じように自由に入力できる。</p> <p>1-nmbIntegerUnsigned : 整数値で、符号なし。小数点や正負の符号は入力できない。</p> <p>2-nmbIntegerSigned : 整数値で、符号あり。小数点は入力できないが、正負の符号が入力できる。</p> <p>3-nmbFloatUnsigned : 浮動小数点で、符号なし。小数点が入力できるが、正負の符号は入力できない。指数形式の入力もできない。</p> <p>4-nmbFloatSigned : 浮動小数点で、符号あり。小数点と正負の符号が入力できる。指数形式の入力はできない。</p> <p>5-nmbExp : 指数形式の入力が可能。上述の 1 から 4 のすべての方法で入力が可能。指数部を識別する記号として、「*」、「e」、「E」、「d」、「D」の各文字が入力できるが、「*」は「E」に置き換えられる。</p>
<u>プロパティ名</u>	SelectAll
<u>型</u>	Boolean
<u>説明</u>	コントロールがフォーカスを得たときに、入力されている文字全体を選択するかどうかを設定する。True に設定しておけば、フォーカスを得たときにあらかじめ入力されていた文字全体が選択され、そのまま新たにキー入

力をする、古い入力を取り消される。

プロパティ名

Text (既定のプロパティ)

型

String

説明

基本的に、Text Box コントロールと同じだが、プログラムの中でこのプロパティに値を入力したとき、NumberFormat で設定した入力規則によるチェックは行われないので要注意。

イベント名

Change, DragDrop, DragOver, GotFocus, KeyDown, KeyPress, KeyUp, LostFocus, MouseDown, MouseMove, MouseUp

説明

Text Box コントロールと同じ。

イベント名

Enter

説明

Enter キーが押されたときに発生する。

メソッド名

Drag, Move, SetFocus, ZOrder

説明

Text Box コントロールと同じ。

イベント名

MoveFocusNext

説明

次の TabIndex のコントロールにフォーカスを移す。